

## 事業者温室効果ガス削減報告書概要(第一計画期間) 第3年度分

## 1 事業所の概要

事業者の名称	株式会社LIXIL		
事業所の名称	株式会社LIXIL 東北支社		
事業所の所在地	仙台市青葉区中央4-6-1 SS30 11F		
主たる事業	金属製品製造業		
事業者の該当要件	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第15条第1項に該当する一般事業者	

## 2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2019 年度	基準排出量	87.0 t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	35.37	
		目標年度	2022 年度	目標排出量	82.6 t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	33.55
			削減率	5.11 %	削減率	5.14 %	
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2020 年度	排出量	75.0 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	30.49	
			削減率	13.79 %	削減率	13.79 %	
		排出量等の増減理由	コロナ感染防止のためにオフィスの人員出勤率の上限を設けたことに加え、ショールームの開始時間の変更や館内サービスの一時停止等によってエネルギー使用量の削減となりました				
	第2年度	2021 年度	排出量	77.0 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	31.3	
			削減率	11.49 %	削減率	11.50 %	
		排出量等の増減理由	在宅中心のワークスタイルに移行したことによりエネルギー使用量の削減となりました。				
	第3年度	2022 年度	排出量	74.0 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	30.08	
		削減率	14.94 %	削減率	14.95 %		
	排出量等の増減理由	基本在宅のワークスタイルが定着したことに加え退館時間の管理が削減に繋がったと思われます。					

## 3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	55 %	目標年度	100 %
	第1年度	64 %	実施状況の説明等	取り組みの実施についてはアクションプログラムの参加が第1年度の2020年12月のために第2年度以降の計画となっています。
	第2年度	91 %	実施状況の説明等	支社として地球温暖化防止に関する研修、教育の定期的な実施ができていない状況ですのでこの点について計画的に次年度は進めていきます。
	第3年度	64 %	実施状況の説明等	電気使用量の削減が数値的に達成されていることに甘え、支社独自の地球温暖化防止に関する研修、教育の定期的な実施ができませんでした。

様式第2号

選択対策の実施状況	項目		実施状況
	エネルギー使用量の見える化(前年度比較)		実施済
	燃費性能の良い車両の計画的導入		実施済
	エコドライブ教育実施		実施済
その他の対策の実施状況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	環境マネジメントシステムの導入	製造拠点および物流拠点を対象にISO14001認証を取得。	実施済
	SBTやRE100等の国際的な気候変動イニシアティブなど脱炭素経営への取組	グループとして、SBTおよびRE100に加盟。	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	【国内】 全国の営業拠点や、工場・物流センターのモデル拠点を対象に再生可能エネルギーを導入。現在導入拠点拡大中。 (2020年10月時点:営業22拠点、工場・物流各1拠点)	実施済
	SBTやRE100等の国際的な気候変動イニシアティブなど脱炭素経営への取組	【海外】 水栓金具を生産している全工場(主に欧州)で、カーボンニュートラルを達成。	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	【全体】 老朽化設備をエネルギー効率の良い省エネ設備に入れ替え。	実施済
	廃棄物削減対策の実施	【国内】 生産時の不良率低減による廃棄物削減。 木くずの有価物等を推進。	実施済
	排出係数の小さい電気事業者の選択	【国内】 電力契約見直し時には、排出係数を確認し、現状より係数の高い電気事業者は安くても選択しないルールとしている。 【海外】 電力自由化の地域については、係数の高い国営電力会社から、係数の低い民間の電力事業者へ契約変更。	実施済